

在宅医療推進 北関東ブロックフォーラム in 群馬



テーマ

県民公開講座「救急医療と在宅医療の有機的な連携：
望まない延命治療をしないためのまちづくり」

日時

平成30年

10月7日

13:30～16:30
(13:00開場)

会場

群馬会館「ホール」

前橋市大手町2-1-1

定員

400名

県民の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、お申し込み下さい。
事前申込みのない場合は入場をお断りする場合がございます。

参加費無料

特別講演 座長●大澤誠

演題：看取りの「紙づくり」よりも「町づくり」のために
ー終末期医療とエンディング・ノートー

演者：板井孝吾郎氏

宮崎大学大学院医学部医科学総合研究科医科学医科学専攻
「生命倫理コーディネーター」高度職業人養成コース 教授
宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野 教授
附属病院中央診療部門 臨床倫理部 部長

シンポジウム 座長●小笠原一夫 川島崇

シンポジスト（予定）●大嶋清宏氏：群馬大学救命救急センター長

下田隆也氏：下田内科医院 院長

丹野武志氏：伊勢崎市消防本部 警防課長

市民・介護支援専門員 等

コメンテーター●板井孝吾郎氏

◆主催 在宅医療推進北関東ブロックフォーラム実行委員会

◆共催 群馬県 群馬県医師会 群馬県歯科医師会 群馬県薬剤師会 群馬県訪問看護ステーション連絡協議会
群馬県介護支援専門員協会 群馬県在宅医療支援診療所連絡会 公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団

お問い合わせ●群馬県医師会事務局 宇賀神（うがじん） TEL 027-231-5311 FAX 027-231-7667

※このフォーラムは公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団の助成を受けています。

大澤が実行委員長と司会を務めたフォーラムが、平成30年10月7日、群馬会館で開催されました。

患者の心くむ治療に

前橋 延命の在り方考える

延命治療の在り方を考えた。望む最期は一人考えるフォーラムが、前橋市の群馬会館で開かれ、先進的な取り組みで知られる宮崎大の板井孝彦教授が講演

した。望む最期は一人異なるとし、「患者の心ækみ取ろうとする姿勢が医療に大切」と訴えた。救急搬送されたもの



宮崎大の取り組みを紹介する板井教授

の意識や回復の見込みがない患者や家族が、延命治療を望まないケースなどに対応するため、同大医学部附属病院は2012年、専門の部署を設けた。

板井教授は、患者が事前に延命治療への考えを周囲に話したり、書き留めたりしていたかの確認が大切と説明。「文書があったとしても拙速に判断せず、内容の背景まで理解するよう努めるべき

だ」とした。本人の思いを受け止める体制や地域づくりが大切とした。

県内の救急医療に携わる医師や消防職員らも発表した。「在宅医療推進・北関東ブロックフォーラム」として医療関係者でつくる実行委員会が主催し、約140人が参加した。

